

- WBA-409: The initiation of convection (19 min (sound) \$ 215)
- WAB-410: The global weather experiment (FGGE) Special Observing Period-1 (14 min (silent) \$ 160)
- WAB-411: The global weather experiment (FGGE) Special Observing Period-2 (14 min (silent) \$ 160)
- WAB-447: North Atlantic Hurricanes (16min(silent) \$ 165)
- WAB-456: Development of deep convection (29 min (sound) \$ 300)
- WAB-467: El Chichon/Volcanic Eruption (10 min

- (silent) \$ 165)
- WAB-474: Basic cloud identification and interpretation (22 min(sound) \$ 250)
- WAB-477: The El Niño Event of 1982-1983/Equatorial Pacific (12 min (silent) \$ 175)
- WAB-487: The El Niño Event of 1982-1983/Equatorial Atlantic (12 min (silent) \$ 175)
- WAB-492: Fog identification and interpretation (25 min (sound) \$ 255)
- WAB-495: Moving cloud systems (22 min (sound) \$ 250)



近藤純正 著

「身近な気象の科学」

東京大学出版会 A 5 版 189頁,
1987年1月, 2,200円

私たちの学生時代にもかような本があればどんなに益しただろうと思いたくなる本が最近続々と出版されている。この本もその類いの1つである。この本がこういう実感を抱かせるのは読者に学習意欲をつのらせるからである。何故そうなのか。それは、ある一つの学問（たとえば気象学）に従事する者がこれほどさまざまなことに科学性を追究できるのだという希望をもたせてくれるからである。

この本は著者が東北大学教養課程の理系学生を対象に提供された講義にもとづいている。内容はまず18話に区切られている。各話がさらに4～6小節の小品でお膳立てされている。何故この話をする、その話をどう展開する、展開に何を用了、その結果何がわかった、というプロセスを読者にさりげなく感じさせる。第6話、大規模林野火災と異常強風、を例示すると次のごとくである。

1. 大規模林野火災の概要
2. 熱混合風の発生のメカニズム
3. 強風の実態
4. 大規模林野火災に共通した条件 (付) 地面付近の風速の高度分布

ビルの火災はともかく山火事は身近かではあるがやや人々の関心は薄い。しかし、それをとり立てる。それが実は大変な社会の損失だと読者の再認識をうながす。また自然科学的にも興味深いことを匂わせる。風があれば火はあおられ、火災は大規模化する、という程度の知識

しか一般常識人はもたないだろう。この風がにわか立ち起り、強風化していくメカニズムをあばく。単にドキュメント風にはない。創意工夫に富んだ研究活動の成果をフルに活用して説明する。そして最後に山林火災が大規模化する赤信号は何かを提示してその話を結ぶという具合である。

誰もが経験しているように身近なことは平易に見えても理解しにくいことが多い。こういうことにきちんとした科学的なメスをいれるのだから、この本の内容の程度は当然、高いというべきだろう。これは、この本がいれば著者の長年の研究足跡にもとづくものであることからもうかがい知ることができる。しかし、上に例でもって示したごとく、著者は内容の表現技術に細かい気を遣い、読者の理解を助けている。どの話にも4～5枚のあざやかな挿図がのせてあるのもそのあらわれであろう。

最近全国どの地方でも、大学や研究機関で教養科目のメニューの充足拡大、関連分野を包括したセミナーや共同の研究活動の必要性が盛んに言われ、また実施されている。こういう目的のために、大気にかかわる境界分野では、この本が格好なテキストや参考書になると思う。

また18話全体の中に流れるこの本のフィロソフィーを感じる人がいるかも知れない。それは著者が副題としてある熱エネルギーの流れであろう。大気中は勿論のことだが、小さな生命体から大きな地球内部にまでおよんで熱エネルギーの話題が盛り込まれている。これらの話題は気象学に限らずその他の地球や宇宙物理学を志す者、また従事する方々にとっても関心深いものであり、そういう方にもこの本は有益な知識を与えてくれるものと思う。

(琉球大学短期大学部 石島 英)